

2024年3月期 第3四半期（4-12月） 決算説明資料

酒井重工業株式会社

証券コード 6358

URL <https://www.sakainet.co.jp>

2024年2月9日

決算短信（サマリー情報）

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

（百万円未満切捨て）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益		1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	24,301	9.8	2,580	62.7	2,676	68.7	1,947	66.1	458.78	—
2023年3月期第3四半期	22,125	11.8	1,585	36.0	1,586	31.5	1,172	40.2	277.45	—

（注）包括利益 2024年3月期第3四半期3,948百万円（43.7％） 2023年3月期第3四半期2,747百万円（164.7％）

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		％
2024年3月期第3四半期	44,871		28,431		63.2
2023年3月期	40,804		25,295		61.8

（参考）自己資本 2024年3月期第3四半期 28,355百万円 2023年3月期 25,232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	80.00	—	120.00	200.00
2024年3月期	—	90.00	—		
2024年3月期（予想）				180.00	270.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	33,100	5.2	3,300	31.7	3,300	41.8	2,300	35.7	542.15

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

連結業績ハイライト

1. 第3四半期業績の概要

- 1) **連結売上高： 24,301百万円（前年同期比 9.8%増）**
 海外販売が斑模様ながらも好調に推移
- 2) **営業利益： 2,580百万円（前年同期比 62.7%増）**
 収益構造改革に加え、円安などの上振れ要因
- 3) **国内販売： 11,070百万円（前年同期比 1.9%増）**
 国土強靱化加速化対策を背景とした堅調な市場環境の下、度重なる価格改定や幅広いコスト上昇に対して、設備投資動向が足踏み傾向
- 4) **北米販売： 6,626百万円（前年同期比 31.8%増）**
 好調な建設投資を背景として力強い需要拡大が継続
- 5) **アジア販売： 5,503百万円（前年同期比 3.5%減）**
 インドネシア市場が好調に推移したものの、中国及びA S E A N主要市場が減速

連結業績ハイライト

2. 事業環境変化への対応

1) 資本収益性向上に向けた取組み

(1) 中期経営方針の進捗

5か年中期計画 : 売上高 300億円、営業利益 31億円、ROE 8.0%
 当通期業績予想（第3年度） : 売上高 331億円、営業利益 33億円、ROE 8.6%
 当第3四半期実績 : 売上高 243億円、営業利益 25.8億円、ROE 9.7%

(2) 企業価値向上の進捗（PBR1倍超え）

2023年 3月末: PBR 0.68倍（株価 4,010円）

2023年12月末: PBR 0.90倍（株価 5,990円）

2023年4月13日付適時開示「資本収益性の向上に向けた取組状況について」にて取り組み方針を開示

<https://www.sakainet.co.jp/news/item/20230413shihonsyuuekisei.pdf>

2) 価格改定と高付加価値化による収益構造改革

原価率改善 : 70.9%（前年比 3.6%改善）

国内外における価格改定浸透と輸送費正常化により収益構造改革が進展

3) 製品供給力強化

(1) サプライチェーンの強靱化（調達先の修正とデュアルソース化により安定）

(2) グローバル事業活動の修正（国内工場の生産能力拡大と中国工場の部品事業拡大により国内外事業体制が安定）

4) 需要変化対応

棚卸資産回転数 : 2.79回転（前年同期比 0.16回転減（5%減））

増産用部品及び安全在庫積み増し。供給制約緩和に伴い適正在庫水準への調整中

連結業績ハイライト

3. 中長期成長戦略

- 1) **アジア市場深耕** : インドネシア拠点を中核としたASEAN市場拡大（前年同期比売上高3.5%減）
- 2) **海外事業領域拡大** : 道路維持機械の海外市場展開（インドネシア現地生産開始）
- 3) **北米市場開拓** : ニッチマーケティングによるシェア拡大（前年同期比売上高31.8%増）
- 4) **次世代事業開発** : 緊急ブレーキ、転圧管理システム、切削管理システムの市場展開。
自律走行式ローラ、E Vローラの研究開発推進中。

4. 事業環境見通し

1) 世界の建設機械市場

日米の大型インフラ投資計画や新興諸国におけるインフラ建設と鉱山開発の活発化、更には老朽化インフラの更新需要や災害対策と復興需要など、底堅い潜在需要が期待されます。

2) リスクと対応

コロナ以降急回復して来た世界経済が変化局面を迎える中、世界の安全保障環境先鋭化や国際社会のブロック化、生成AI技術による急激な社会構造変化など、世界経済の行方は予断を許しません。このような時代の変化に適応した経営体質へ転換すべく、「事業環境変化への対応」を進めて参ります。

連結業績

(単位：百万円)

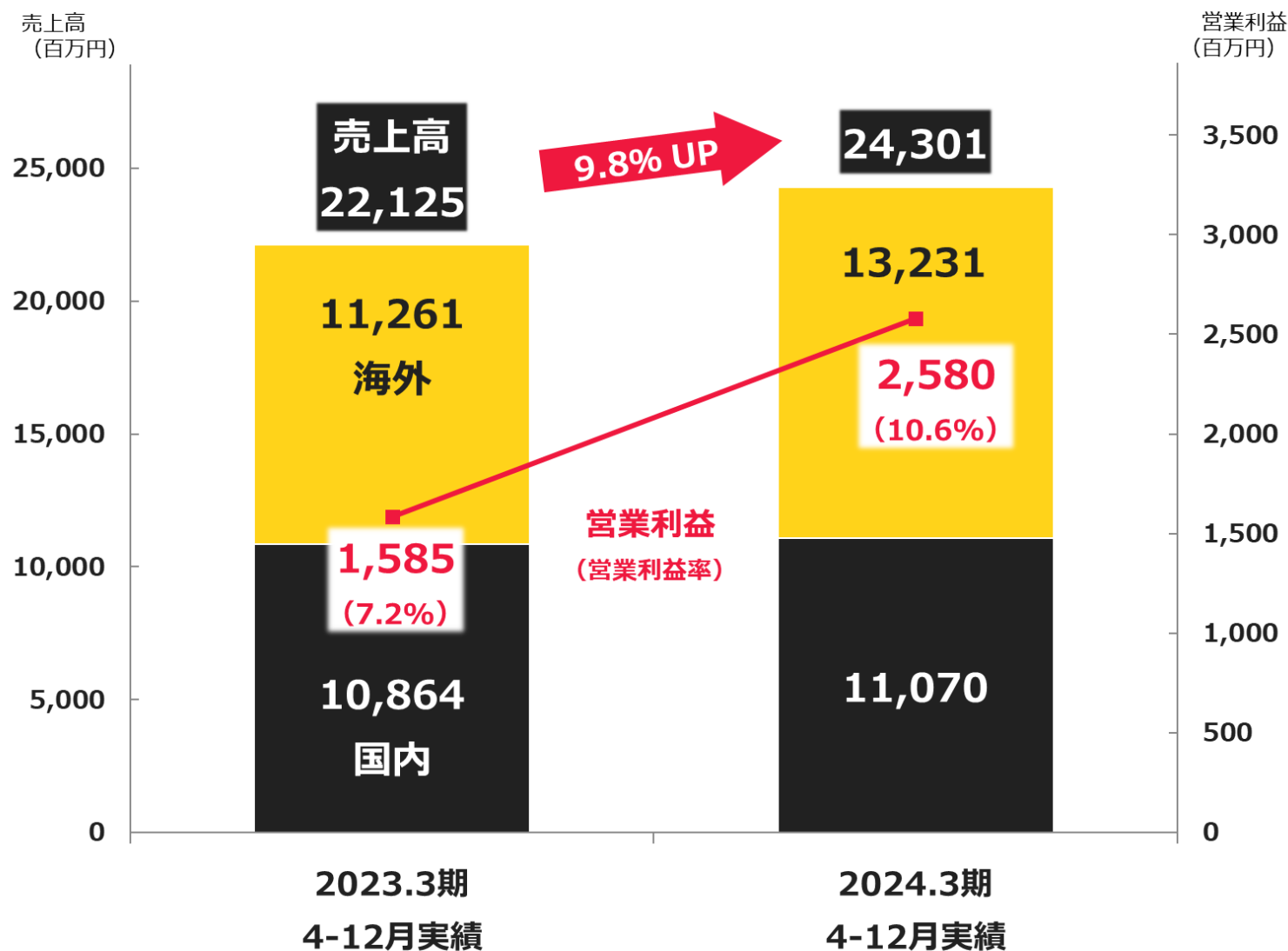
	2023.3期 4-12月実績	2024.3期 4-12月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	22,125	24,301	2,175	9.8%
国内	10,864	11,070	205	1.9%
海外	11,261	13,231	1,970	17.5%
営業利益 (営業利益率)	1,585 (7.2%)	2,580 (10.6%)	994	62.7%
経常利益	1,586	2,676	1,089	68.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,172	1,947	775	66.1%

(原価率)

(74.4%)

(70.9%)

連結業績（グラフ）



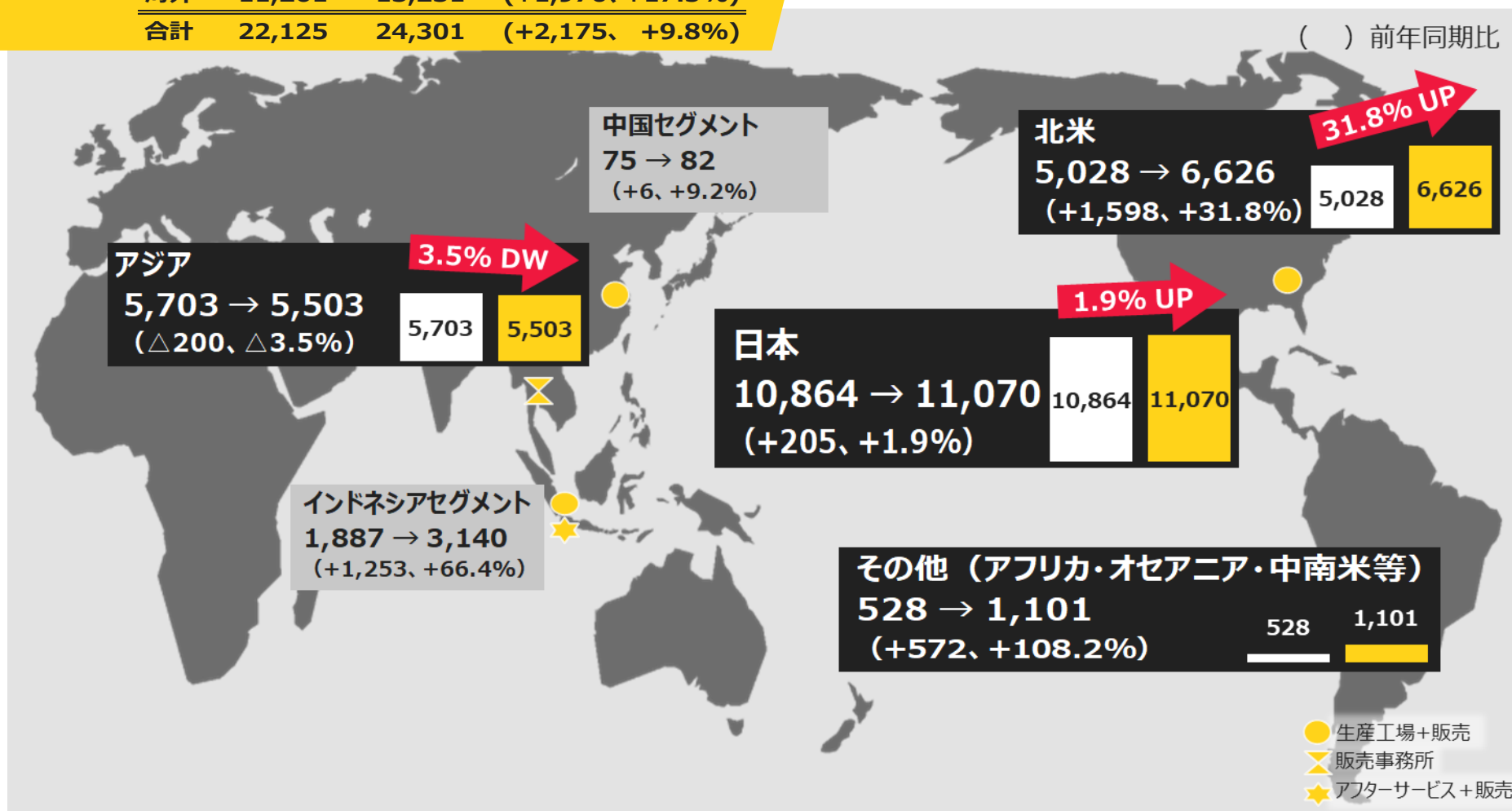
地域区分別売上高（顧客の所在地別に分類）

（単位：百万円）

	2023.3期 4-12月実績	2024.3期 4-12月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
国 内	10,864	11,070	205	1.9%
海 外	11,261	13,231	1,970	17.5%
北米	5,028	6,626	1,598	31.8%
アジア	5,703	5,503	▲ 200	▲3.5%
その他	528	1,101	572	108.2%
合 計	22,125	24,301	2,175	9.8%

地域区分別売上高（地図）

(単位：百万円)	23.3期 4-12月	24.3期 4-12月	前年同期比
国内	10,864	11,070	(+205、+1.9%)
海外	11,261	13,231	(+1,970、+17.5%)
合計	22,125	24,301	(+2,175、+9.8%)



所在地別セグメント（当社の生産・販売拠点別に分類）

（単位：百万円）

日 本	2023.3期 4-12月実績	2024.3期 4-12月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	15,133	14,451	▲ 682	▲4.5%
内部売上高	2,690	3,324	634	23.6%
総売上高	17,824	17,775	▲ 48	▲0.3%
営業利益	516	843	327	63.5%

（単位：百万円）

北 米	2023.3期 4-12月実績	2024.3期 4-12月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	5,028	6,626	1,598	31.8%
内部売上高	46	6	▲ 40	▲86.2%
総売上高	5,075	6,633	1,558	30.7%
営業利益	437	762	324	74.1%

（単位：百万円）

インドネシア	2023.3期 4-12月実績	2024.3期 4-12月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	1,887	3,140	1,253	66.4%
内部売上高	3,761	2,559	▲ 1,201	▲31.9%
総売上高	5,648	5,700	51	0.9%
営業利益	593	864	270	45.6%

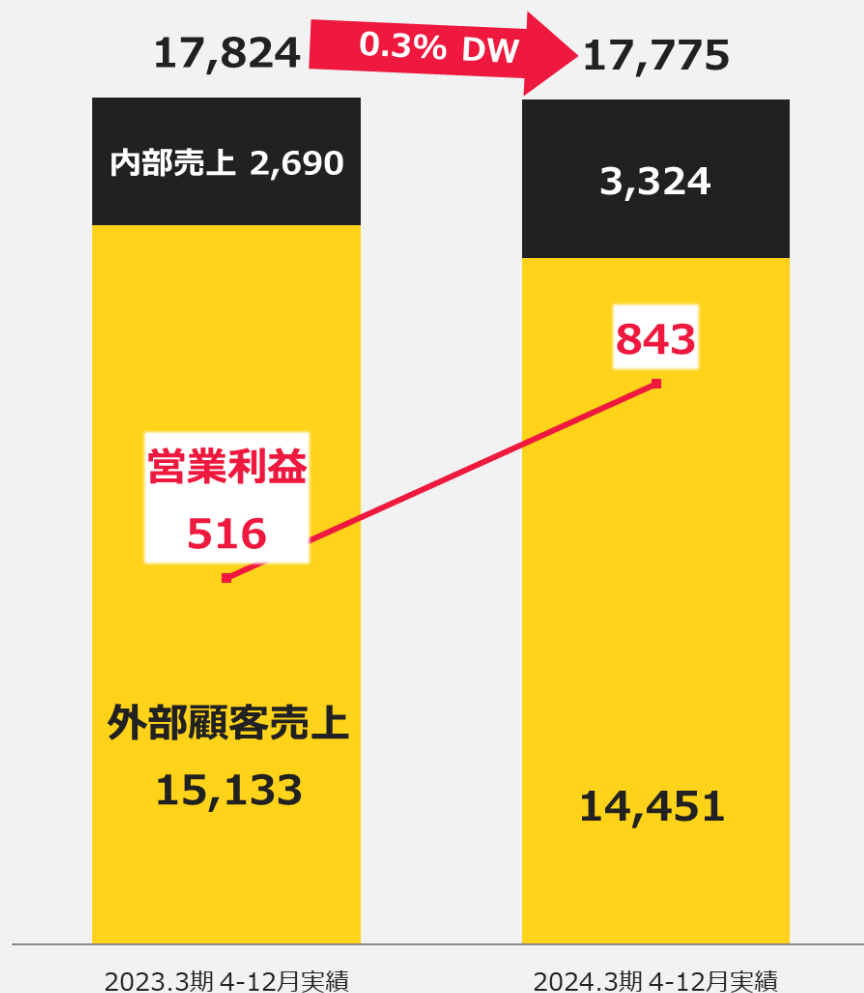
（単位：百万円）

中 国	2023.3期 4-12月実績	2024.3期 4-12月実績	前年同期比	
			増減額	増減率
外部顧客売上高	75	82	6	9.2%
内部売上高	869	1,352	483	55.6%
総売上高	945	1,435	490	51.9%
営業利益	35	183	148	421.4%

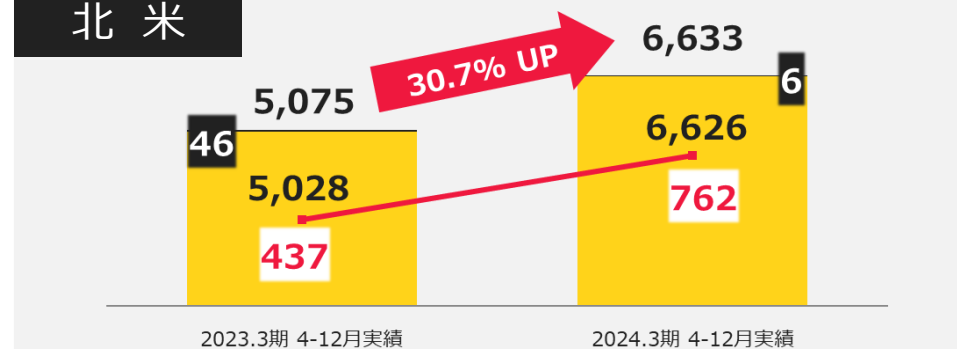
所在地別セグメント（グラフ）

（単位：百万円）

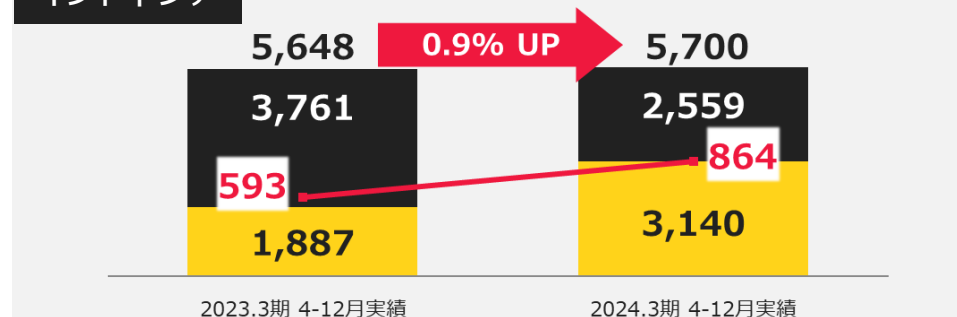
日本



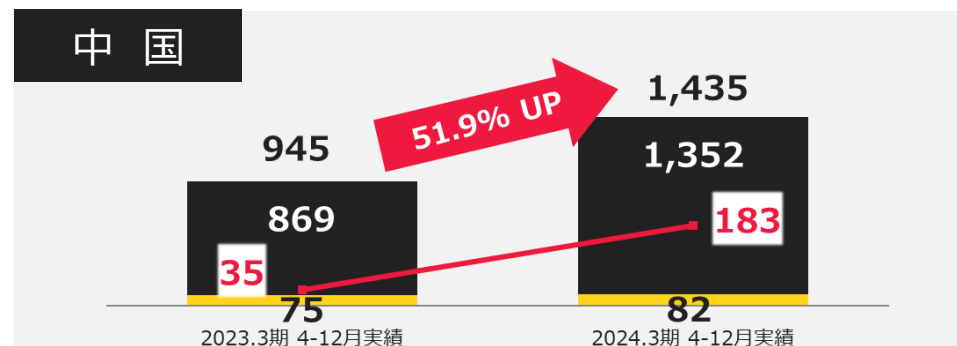
北米



インドネシア



中国



営業利益 増減要因

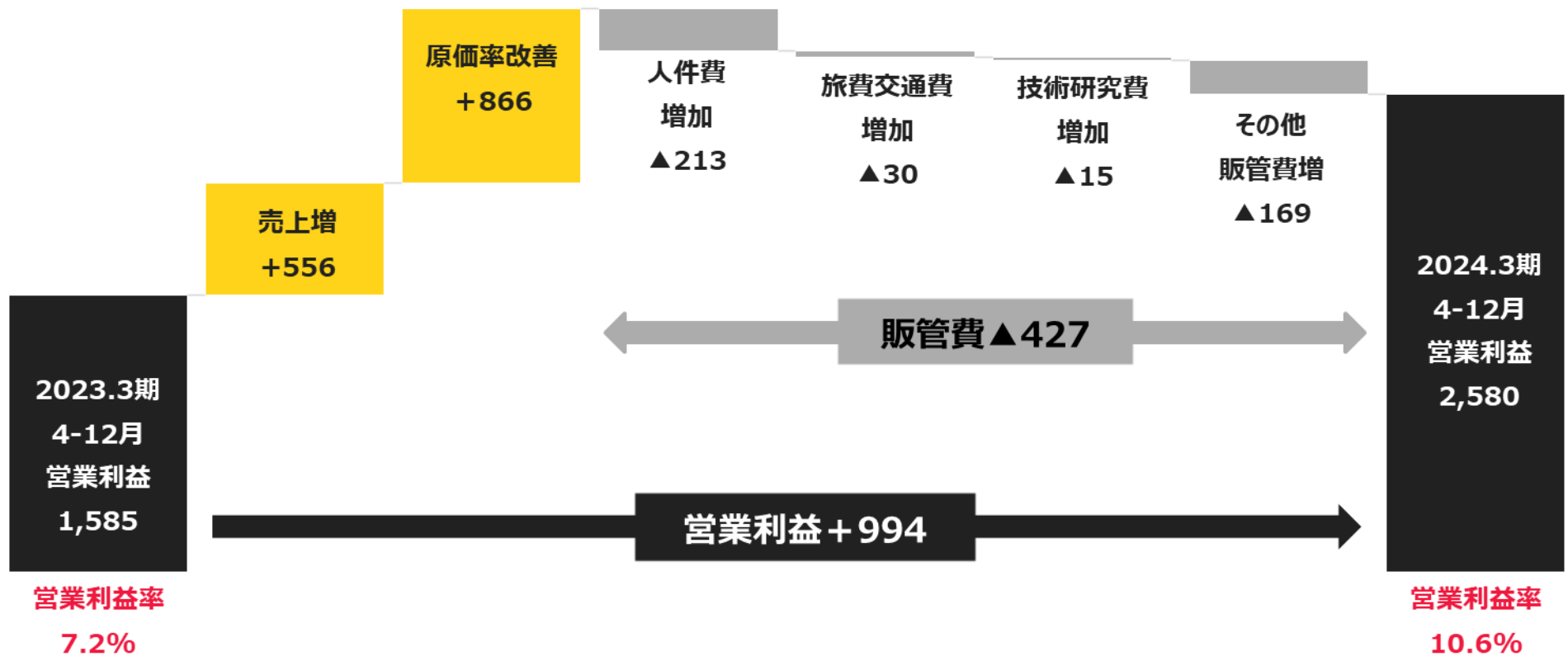
- 売上高を前年同期比2,175百万円増加させた結果、売上総利益は556百万円の増益
- 価格改定浸透と運送費の正常化に加え、円安などの上振れ要因もあり、原価率は3.6%改善し、売上総利益は866百万円の増益
- 人的資本投資強化（人件費増）と事業活動活発化に伴い、販管費は427百万円の増加
- 結果として営業利益は、前年同期比994百万円増の2,580百万円

（単位：百万円）

	2023.3期 4-12月実績	2024.3期 4-12月実績	増減	営業利益への 影響額	備 考
売上高	22,125	24,301	2,175	+556	2,175 x (1 - 74.4%)
(原価率)	74.4%	70.9%	▲3.6%	+866	24,301 x ▲3.6%
売上総利益	5,654	7,076	1,422		
販管費	4,069	4,496	427	▲ 427	人件費+213、旅費交通費+30、 技術研究費+15、その他販管費+169
営業利益	1,585	2,580		+994	

営業利益 増減要因 (グラフ)

(単位：百万円)

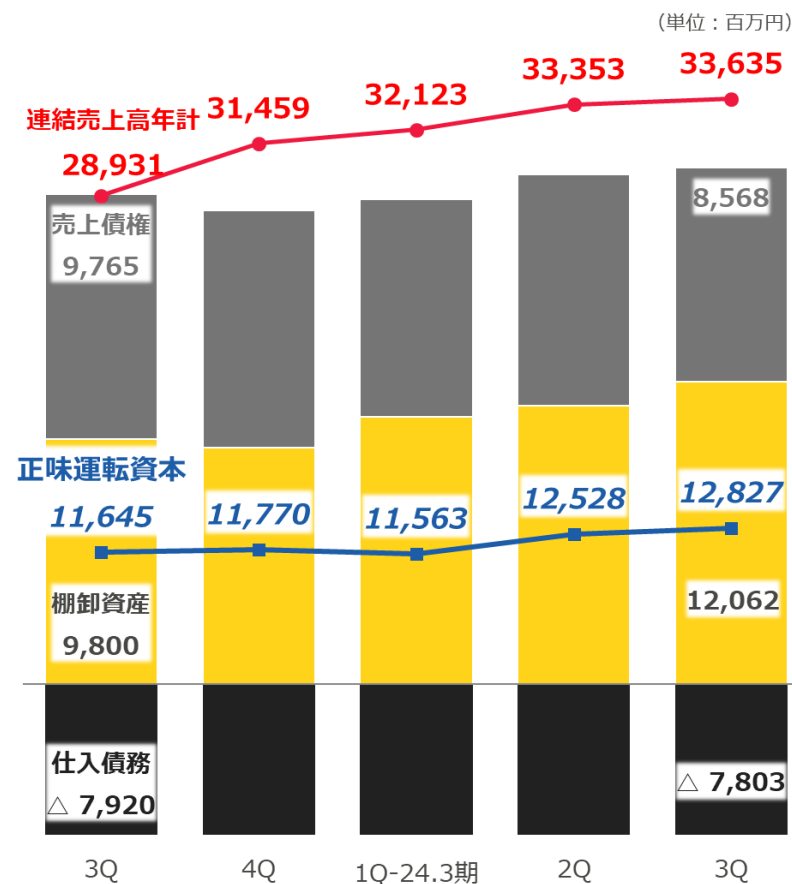


正味運転資本推移（売上債権＋棚卸資産－仕入債務）

- 営業上の投下運転資本は、前年同期比1,182百万円増の12,827百万円。
結果として、正味運転資本/売上高比率は、前年同期比2.1%減の38.1%。
- 棚卸資産は、増産用部品及び安全在庫積み増しにより、前年同期比2,262百万円増の12,062百万円。
結果として、売上高/棚卸資産回転数は、前年同期比0.16回減（5%減）の2.79回に低下。
在庫水準適正化に向けて調整中。

（単位：百万円）

	2023.3期	2024.3期	前年同期比	
	4-12月実績	4-12月実績	増減額	増減率
連結売上高（年計）	28,931	33,635	4,704	16.3%
売上債権	9,765	8,568	▲1,197	▲12.3%
棚卸資産	9,800	12,062	2,262	23.1%
仕入債務	▲7,920	▲7,803	117	▲1.5%
正味運転資本	11,645	12,827	1,182	10.2%
棚卸回転数	2.95回	2.79回	▲0.16回	
正味運転資本/売上高比率	40.3%	38.1%	▲2.1%	



連結業績の予想

- **通期売上高予想**：上半期決算を踏まえ、2023年11月9日に上方修正済です。
- **今後、原材料インフレに加えて物流コスト上昇や人的資本投資拡大が見込まれる中、北米市場の好調維持が期待されるものの、アジア市場や国内市場では度重なる販売価格改定と先行き不透明感から成長鈍化の兆しが見られます。**

(業績予想値の前提となる為替レートは、米ドル140円で換算)

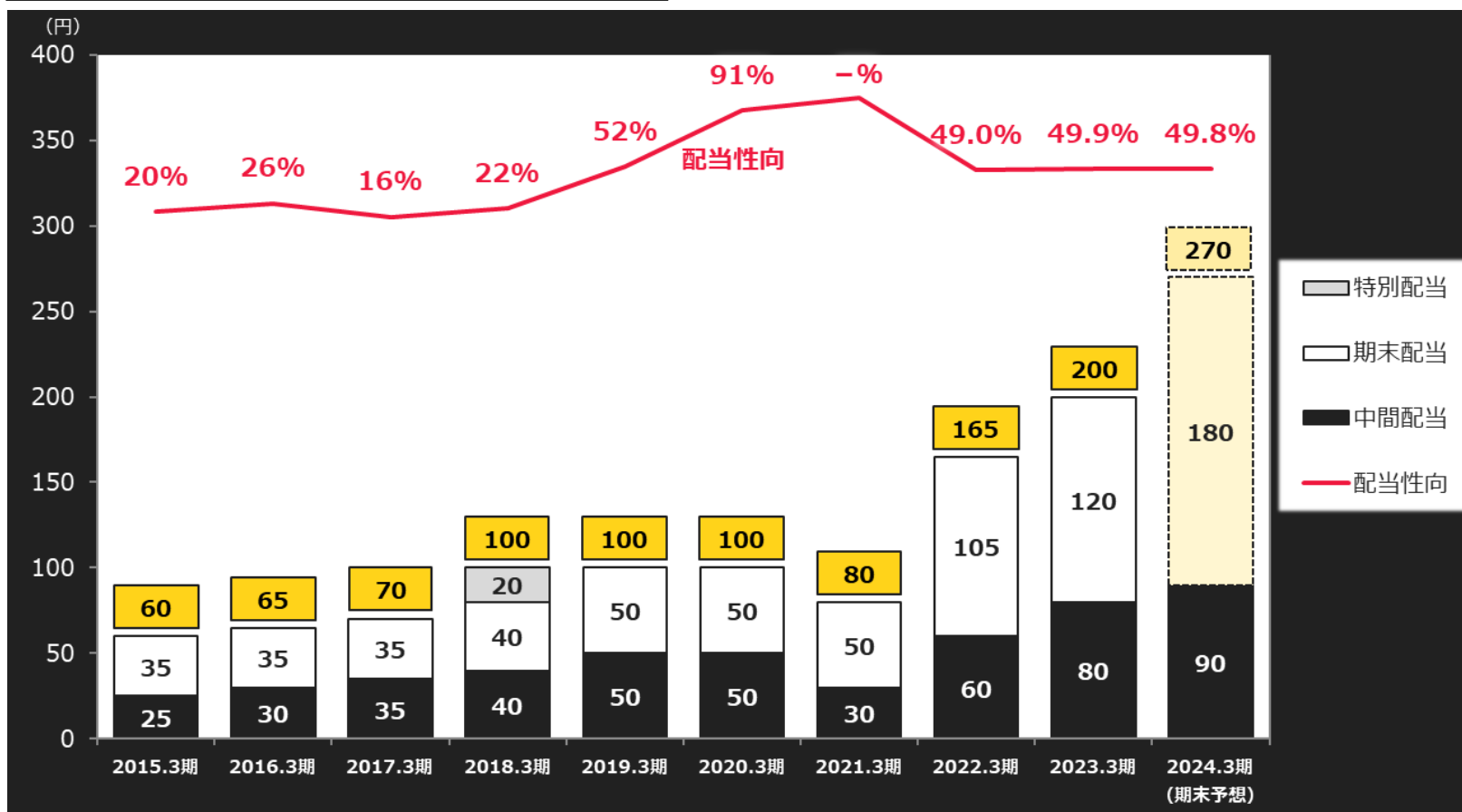
(単位：百万円)

	3 Q (4-12月)				通期			
	2023.3期 4-12月実績	2024.3期 4-12月実績	前年同期比		2023.3期 通期実績	2024.3期 通期予想	前年比	
			増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	22,125	24,301	2,175	9.8%	31,459	33,100	1,640	5.2%
営業利益	1,585	2,580	994	62.7%	2,506	3,300	793	31.7%
経常利益	1,586	2,676	1,089	68.7%	2,327	3,300	972	41.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,172	1,947	775	66.1%	1,694	2,300	605	35.7%
1株当たり純利益	277.45円	458.78円	181.33円	65.4%	400.75円	542.15円	141.40円	35.3%

配当金の状況

- 2021年6月2日の『中期的な当社経営方針』発表以降、ROE 8 %を目標として、次の配当方針を掲げております。

ROE 3 %を下回る場合：配当性向100%の還元
 ROE 3 %～ 6 %の場合：DOE 3 %の還元
 ROE 6 %を超えた場合：配当性向50%の還元



注) 2017年10月1日をもって10株を1株に株式併合を実施、併合前についても併合後に合わせて表示しております。

中期経営方針 KPI

- 通期業績予想では、売上高331億円、ROE8.6%と、中期計画値を達成する見通しです。
- 当期の収益構造改善には、価格改定の浸透と輸送費正常化に加え、円安など実力以外の上振れ要因が含まれていますので、今後はこの収益構造の足場固めと、更なる業績向上を目指して参ります。

(単位：百万円)

	2023.3期 4-12月実績	2024.3期 4-12月実績	2024.3期 通期予想	2024.3期 目標	2026.3期 目標
売上高	22,125	24,301	33,100	26,500	30,000
営業利益	1,585	2,580	3,300	2,000	3,100
年換算ROE（自己資本当期純利益率）※1	6.5%	9.7%	8.6%	5.5%	8.0%
自己株式取得	—	—	取得累積		
			340※2	500 ～ 2,000※3	

※1 年換算ROEは、対象決算期間に基づき年換算しております。

※2 2024年2月9日現在で実行済みの累積金額です。

※3 2026.3期までの累積目標額です。

SAKAI

MASTERS OF COMPACTION

お問い合わせ

酒井重工業株式会社

I R 室 吉川 孝郎

メール sakai.ir@sakainet.co.jp

TEL 03-3434-3401

FAX 03-3436-6513

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。